

Windmolen



ロッテルダム日本人学校 谷崎 城

シンタククラス



12月5日はシンタクラス祭の日でした。シンタクラスとは、オランダ版サンタクロースのことです。お供の黒人ズワルトピートを連れて、スペインから船に乗ってオランダの良い子たちにプレゼントを配りにくる……という設定です。いや、本当です。(子どもの夢を壊してはいけません)。前日に人参や角砂糖を用意し(シンタクラスの馬の為)、靴を置いておくと、翌朝プレゼントが入っているそうです。ただ、ズワルトピートはいたずら好きで、この日の朝教室を覗くと、こ



のように机やイスが荒らされていました。→ズワルトピートは、ペーパーノートンというシナモンの効いた小さくて丸いクッキーを子どもたちに配って回っていました。クセになる味です。



一つ、言い忘れていました。悪い子は、麻袋に入れられてスペインに連れていかれるそ

うです。それはそれでいいなと思うのは私だけでしょうか？

現地校見学

先日、JSR近くにある現地校に、研修の一環として授業参観に行ってきました。案内をしてくれたRohan君は15歳。彼もその友達も日本のアニメ(フリーチ・ナルト…)が好きだそうです。いくつかのフレーズを日本語で話してくれました。彼らとともに一緒に数学の授業を受けました。内容は、『累乗根』。先生が、〈SMART NOTEBOOK〉を用いて、電子黒板でホームワークの答え合わせ・解説を行っていました。また、各自が、関数電卓(グラフが描ける機能をもった)を持っており、どの生徒もそれをカンペキに使いこなしていました。日本は少し遅れているかも…。



冬の風物詩

日本で大みそかに食べるものと言えば『年越しそば』。しかし、オランダでは、『オリボーレン (Olibollen)』という菓子を食べます。直訳すると『油玉』。オランダ式のドーナツです。…と言うより、このオリボーレンこそがドーナツの起源だとされているのです。冬になると、オリボーレンの屋台が至る所に出回ります。JSRでは、現地理解教育の一環として、オランダ語でオリボーレンを買うという『オリボーレンレッスン』があります。揚げたてをおいしくいただいた後、店員さんと記念撮影してもらいました。

